

問 28：議員をしながら議員をするためにはどうしたらよいか。

1. 議会の時間を工夫する。
2. テレワークのような集まらなくても活動できる仕組みにする。
3. 上手に時間を使うようにすればよい。
4. スケジュールをこまめに管理。リモートなどその場にいなくても対応できるようにする。
5. 議会が議場で開かれる必要はない。デスクワーク的議会を考え、町民の意見交換も直接的な接触ではなく、メールや SNS 等を利用し、そういったツールが利用できることを PR し、仕事の合間でも職務が行えるようにする。現状議員のメディアリテラシーが低い。
6. 副業が可能な職種なら兼業でよい。報酬の増額。
7. 無駄な視察や長時間の会議を省くなど時間の制約を少なくしたり、夜間、土日の活動も考えてみては。
8. 休日の議会を行う。夜間に議会を行う。
9. 夜間議会。休日議会。
10. 毎日議員の仕事をしていないと思う。
11. 議会を夜や休日にする。そうすればもっと若い人も参加できるし、町民の傍聴も可能。
12. 平日の通常仕事をしている時間を犠牲にして議員になれる人はまれだと思う。
13. 議会は要点をまとめて短時間で速やかに行う。回数も減らす。
14. 議員の仕事の効率を良くする。また物理的制約を軽くする。
15. 町をよくしようとする考えの人間が参加するべき。
16. 仕事で得た知識や仕事仲間の意見を聞き、それを議員が理解して議会に反映すればいい。
17. 二束のわらじと例えられるがやはり専門は難しいのでは、でも政治屋になるのも困る
18. サラリーマンでは無理があるが自営の場合、本業は少し抑えても議員活動への意欲を高めるように議員報酬を引き上げ、あるいは議員活動費を支給するべき。
19. テレワークの活用。
20. 議員の若年化を図るためには一定の制限を定めて兼業を認めたほうがよい。
21. 議員がどのような仕事をしているのかわからないので答えられない。
22. 時間を明確にする。
23. 本来専門で活動するくらいの仕事量を望みたいが、農業、自営業など抜け穴になりやすく、不公平になるため。
24. 夜間や土日の議会開会。テレワーク（遠距離）でも参加可能にする。
25. 会社等の理解を頼む。
26. 議会を土日や夜間に行う。
27. 議員の活動には時間が必要だと思うので、会社員なら会社に時間をもらえるように協力をお願いする
28. 仕事先への理解と協力を得る。
29. 行政がよく動いてくれているので、その方につなぐ動きができるとよい。

30. 議員としての仕事を集約する。ある程度裁量を持たせる。
31. 議員報酬を高くする。
32. 議会の開催を夜や短期間にする。
33. 議員の年齢層を幅広くし、子育て世代からお年寄り世代まで町民の多くの方が住んでよかったと思っていける環境づくりをしていってほしい。
34. ①議員定数を減らし、職員報酬をあげるべき、②議会開催時間を土日、夜間も検討。
35. 議会を土日、夜に行う。
36. 議会は昼間一日を使用せずに午後より、または夕方、夜と毎日ではなく計画的に開催をしたらどうか。
37. 業務時間の工夫。
38. 年間の日時を予定を明確化する。
39. 夜間議会の実施。
40. 議員に特権を持たせる。
41. 議会の土日、夜間開催(平日の不開)。
42. 他の自治体で実施している夜間・休日の議会開催。議員活動のための有給を取れるよう、企業に働きかける。このために企業に損失が生じるようであれば町で補填する。
43. 報酬を高くし、会議も祭日、土日、夜等に可。
44. 企業へ理解を求める。
45. 下伊那地方では夜間や休日開かれる議会はどんなものでしょうか。仕事と両立するにはどちらにも良い結果になるよう研究すべきと思う。
46. それぞれ職種は違うので、そのやり方次第だと思う。
47. 夜議会を検討しては。
48. 会議は夜間に実施。理解の得られる職場に勤務している人、または自由のきく職業の人を選ぶ。兼業でもいい、兼業のできる人が立候補する。
49. 議会開催の時間帯、調査活動などには適正な活動費を支給する。
50. 自営業なら兼業できると思う。自営業でないと議会の日の調整とかできないと思う。
51. 議員報酬だけでは生計が立てられない人がいるのでは。
52. 年間、月間、週間、どのくらい、または何日仕事をしているのか。どのくらい議員として拘束されているのか。
53. 町民の理解が必要なので、議会だより等を通じてPRしていく。
54. 議会を行う時間帯を変更する。
55. 休日を積極的に活用する。
56. 議員は特別な休暇を取得できるようにする。
57. 報酬を高く。
58. 人それぞれなので仕事をしながらできる人はすれば良い。
59. 議会を土日にする。

60. 夜や土日の利用、インターネットの利用。
61. 選挙費用を少なく出来たらよい。
62. 議会の回数を少なくしたとしても必ず出席し町民と町政の橋渡しとして成果を上げて仕事をしてもらう。
63. 議会を夜にするなど工夫する(土日も良いのでは)。
64. 仕事先の協力が必要(企業から議員が出た場合、ここへ協力費として議会から企業へ出す)。若い人が出られやすいようにする。会議を夕方や夜に行う。
65. 仕事場の理解が得られるかどうか。
66. 土日の議会を増やす。
67. 両方を両立できる場所なら。
68. 公約に基づき、目標設定など公表し、成果を報告して、活動の効率化を図っていけばいいと思う。
69. 多少の仕事の犠牲はあっても。その職業の知識や関連性を議会の場でいかせるので、職場の協力を得てやってもらいたい。
70. 議会(会合)の時間を就業後に行う。会社への協力要請等。
71. 会社の理解がないと絶対にできないので職場が議員に対して圧力をかけたりしないよう、何かしら対策を考えて社会を変えないと無理。社会保障を充実させて魅力的なものにさせるなど。
72. 内容の時間割をはっきりさせる。時には臨時的なことも必要と考える。
73. 議員を専業でやる場合には報酬を増額する必要がある。
74. 逆に仕事をせず専業としてもそれなりの仕事をすることは出来ないと思う。税金泥棒と言われかねない。
75. 兼業でよいが議員歳費に期待する人物はダメ。
76. ある程度休みに融通が利く企業、仕事の人ではないと難しい。活動を夕方、土日にする。無駄を省く。
77. 職業にもよるが、職場の理解は不可欠だと思う。職業と両立できない状況では、議員のなり手は減少するばかりだと思う。また日中に行われている議会の時間帯も一考の余地があるかもしれない。
78. 自分の仕事は今まで通りしたい。
79. 理解を深める、そういう場を増やす。
80. 希望としては夜間に議会を開いてみる。
81. 議会を夜にする。
82. ①議会開催等をなるべく通常日の夜、または日曜日等の祭日に設定する。会社員は会社に迷惑をかけることが少ない、家庭の主婦は子ども等を夫に見てもらえる等、融通がつきやすいから。②勤め先が兼務者を出せる環境づくりをするための課題解決に取り組む。例えば勤務時間等に議員活動をする場合が発生した場合は町でその企業に支援金を出す

- など(兼務議員を出した企業には年間で定額補助金を出すなど)施策検討が必要。
83. 毎日議会があるわけではないので、みんなで話し合っただけでいいと思う。
 84. 報酬との関わり。
 85. 議員と固く考えないで局性の延長のつもりくらいでいいと思う。
 86. 仕事は生活を維持、趣味、娯楽のためにする人もいるが、仕事好きな人もいます。
 87. 議会は夜、または休日に実施。
 88. 議員の仕事が主になるように兼業はその時間を制限する。
 89. 議員報酬が低いために空いた時間で仕事を行う。若い人は特に思う。
 90. 夜間や休日に議会を開く。
 91. 大変苦勞なことだが調整して両立させる。仕事があるから情報量も多いと思う。
 92. 議会の時間帯の工夫。
 93. 会社の理解、給与の補填。
 94. 議会の時間を後ろ倒しにする。短縮する。
 95. 会議日、時間の検討。
 96. 他区グループとの交流を設ける。
 97. 仕事の無いとき、例えば土日、夜など
 98. 議員専業では生活できるだけの金はもらえない。
 99. 職場の理解と協力(議員希望者のサポート)
 100. 兼業であるからこそ良いアイデアが出ると思うので働きながら議員が出来るよう職場代表という形で議員になってほしい、仕事同様に議員の仕事に力を入れる。(報酬は半分は職場に入れるというのはどうかな?)議員は一日中か半日程度か仕事の時間が不明。
 101. 議員になる以上は(解読不能)人が兼業出来るべき。
 102. 生活がある。
 103. 時間に余裕のある人がやるべき。
 104. 報酬、テレワーク。
 105. 定年退職後であれば良いと思う。
 106. 町議報酬だけではなかなか生活できない。職場の協力が必要。仕事をもった議員の意見も聞いてみる。
 107. 議員の活動時間がわからないが兼業できるのであれば兼業でよいと思うし、議員の方も収入面も安定してよいのではと思う。
 108. 人数を減らし、意見をまとめやすいようにする。
 109. 区の役員や町の役員は皆さん仕事をしながらやっている。議員だけだともっとお金を払わなくてはならないのでは!
 110. 議員だけだと生活できないから。
 111. 議会を開くに土日や夜間ということも検討する。
 112. 日曜や夜間の議会の開催。

113. 会社にも理解を求める。
114. 他の役員は兼業だと思う。できるように効率的に仕事をしてください。
115. 議員報酬が安いとため議員報酬が上がったら専業でやるべき！
116. 議員として毎日仕事があるのか疑問。
117. 議員の仕事の継承は本当に必要な内容か削減したり、時間の効率化をすることにより、今までと違う議員選びができるのではないか。
118. 前例を作る、条例を作る。
119. 議員の仕事をよくわかっていないので、議員の仕事がすごく忙しくいろいろやることがあるのか、仕事量に対して報酬が妥当かわからない。
120. ワークシェアの推進、各種労働関係の改善が必要。その上で議会の役割等を広報する。現状だと足りないと感じる。
121. 年に数回、夜間、休日の会議も必要。
122. 仕事をしながらの議員のためには夜の議会や土日使ったらどうでしょうか。
123. 議会の開催時間を考える。
124. 議会を夜開く。各公民館を使い、各地域の人との交流ができ、議会の中身に関心を持ってもらう。
125. 議会などは全て夜または休日に行うのが良い。若い働き盛りの人が活動できるような形式にすることが重要で報酬など問題ではない。
126. 議員は活発な運動も必要だが兼業しながらやればよい。
127. 議会を土日に開催する。夜間の開催は仕事を持っている人に良い結果をもたらせない。最近祭日が増加しているのを効果的に使う。
128. 議会を夜とか休日にしたりする。
129. 企業などの理解。
130. 兼業とした場合でも一定の議員活動を義務づけると共に仕事先にも議員活動を妨げない義務を課す。
131. 仕事の時間をある程度自由に設定できる方でないとは出来ない。町としても議員の声を聞き、議会の運営の改革して兼業でもやりやすくしていくこと。
132. 全て午後 6 時頃より会議。
133. 職場の理解。
134. 退職後の方々にお願いしたらと思います。
135. 農業を仕事とする。
136. 会社員の場合は会社の理解、兼業であっても議員を優先すること。
137. 休日または夜間議会をする。
138. 兼業でも良いが一般的な会社員は会社で無理となっている場合が多い。どうしたらよいかというより仕事をしながら議員をしようと決めた方はそれなりのプランがあると思う。

139. 若い議員が増えてほしい。
140. 土曜日曜の活用。
141. 議会開催時刻への考慮。
142. 兼業でも出来る方はしても良い。会社勤め人では無理でしょう。
143. 専業が理想だが…やむをえない。
144. 議会は夜行う。時間を決めて(例 18:00~20:00)
145. 従事している人。
146. 会社側の理解度、協力への補償を充実させる。
147. 現在でも兼業の議員の方(農業、商業、自由業)が多いと思います。議員報酬のアップが望めない現状では多様な働き方が出来る中、志を高くして頑張っていたきたい。
148. 職場にも理解をしてもらうよう働きかける。兼業でよいことにしないと退職した人ばかりが議員になってしまう。
149. 時間は工夫する。地域の方、近い方からでも意見は聞けるしと思うし、生活状態もわかると思います。会合への招待(来賓として)が多すぎると思います。
150. 議会の時間を夜、または土日等に開催する。(議員のなり手不足は解消されず、負担が増すかもしれませんが)。
151. 議会の休日、夜間の実施。
152. 休日や夜など議会を開く。ヨーロッパのように。
153. 議会を開く時間、曜日などを変えて兼業できる環境を作る。
154. 地域の人と交わることを増やして意見を吸い上げる。
155. 時間外の諸活動、議員の意欲が必要。立候補の時点で意欲があるのか?選挙は必要です。
156. フレキシブルな議会運営(夜の時間など)、ITの活用。
157. 定数を減らし、報酬を当選議員に回し、兼業でも頑張って意欲ある議員が出てきてほしい。
158. 無駄をなくした運営。
159. 議員としての活動を優先しながら仕事をすれば良いと思う。議員としての活動が毎日あるとは思わない。
160. 個人の考え方。
161. 銀活動を重点的にやってもらいたい。
162. 議員の活動ができるように会社が考えること。夜の会議を取り入れる。
163. 自分の生活もある程度しっかりしていないといい仕事も出来るか心配。
164. たまには日曜日または夜に議会を開く。
165. 議会は原則土日のみの活動にする。
166. 職業によりますが勤め先の理解が必要だと思います。
167. 働く職場の理解を得ることが先決。

168. 活動の仕方。
169. 職場の理解が必要。
170. オンライン、夜間、土日祝日などに議会を開催するような改革が必要。
171. 老人議員を排除すべき提案がない。
172. 生活費のため両立して収入を得た方が良いと思う。
173. 議員報酬を上げてても議員の資質は変わらない。逆に悪くなる。兼業できなければ出馬すべきではない。
174. 議員にやりがいがあるようになると良いと思います。
175. 議会等を夜に行う。
176. 議員としての職務を全うするために職場に理解を求める。
177. 会社が公職のための有給休暇を支給する。
178. Zoom などを使用したネット会議を基本とすれば交通時間は減らせるかも。
179. 職場の理解が必要かと思います。
180. 夜間会議または土日の議会を。
181. 無駄な仕事をなくす。電子化。
182. 様々な分野からの人が集まり片寄りのない町政への取り組みができるためには会議の持ち方も土日を利用したり、夜の時間等にするなど工夫すれば。
183. そもそもどのようなことをしているかわからないので、(いつ何をしているのかわからない。)両立の仕方もよくわからない。
184. 会社に公休にしてもらえたらいいのですが…。
185. 夜間や土日に開催する。
186. 議会をする。曜日、時間を考える。
187. 兼業でよい(可能)な議員は自営業、経営者等で通常の勤労者は無理と思われるが、議会は定例であることから、場合によってはやりくり可能かもしれない。その場合議会中以外でも積極的に情報収集と質の向上に努めるべき。
188. 仕事を終え時間のある者ばかりではよくない。若い者を入れるため話し合うべき。
189. 若い議員が増えてほしいので兼業でも良いと思いますが。若い方は忙しいので難しい。
190. 議員として仕事ができる人は費用は少ないと思う。活動の少ない人は多いと思う。
191. 夜にできることと昼間できることを分けて。
192. 時間、曜日。
193. 若い人の参加を望む。
194. 外の町村でも行われているように土曜日、日曜日、夜間など取り入れて行う。
195. 議会の開会時間を変える等。
196. 夜間の議会運営をする。
197. 議員専業できるほど仕事があるかが？
198. もう少し報酬を上げるべき。

199. 地域の代表ということを実感しなければならぬ。だが、仕事もあり、生活もあるの
で選挙で選ばれたということを実感しながらの仕事(生活をするため)は多岐にわたる。
200. 兼業有無でなく、議員としての活動内容や見識で判断したい。
201. 報酬が高くないと働き、両立していくしかないと思います。職場の理解を得ていく。
202. 議会の開催時間を考える。
203. 議員なりの仕事をしなくてはならないので議員の報酬だけでは生活できない。年金、
農業収入等他収入がある人になってしまう議員にはボランティアの精神でいてもらいた
い。
204. 議会を平日夜にして仕事帰りでも参加できるようにする。それもテレワークで行う。
決議は集まってする場合土曜や日曜の夜にすればよい。
205. 問 24 と関連して、休日、夜間の議会運営を実施する等の行政上の改革を検討し、もつ
と形式を簡素化した議会運営を考えることが必要だと思います。
206. 議会開催日(平日にこだわらない)。時間(夜間も考える)等考えてみたらどうでしょ
うか。
207. 企業も本来そうすべきであるが企業と一緒に仕事、会社を考えて議会も一緒になって
計画、実行、実施し、チェックを一緒に行うことをベースに共に努力することが本人、
会社発展を目指す。(会社、個人、地区共に目指すべきです)。
208. 昔ながらの古いやり方の改革。不要な会議等の削減による議員の仕事の効率化。
209. 自営業、農業、フリーランスの人が多いと思いますが、サラリーマンの人たちも議員
活動ができるような方法を考えてほしいと思います。一例として夜の議会運営、または
休日の議会運営他…。難しいとは思いますが…?
210. 議員報酬だけでは生活できないと思うと思っていたけれど下記を見て生活はできるは
ず…。
211. 夜の議会、会合など。
212. 議員活動は夜間や休日に行うようにする。
213. 議会の日時を変更。テレワークの実施。議会は集中して実施し、日数を減らす。
214. 大変難しいことだと思います。会社員の人では難しいし、議員だけやっているという
ことだと給料も上げないといけないし、そうするとやはり自営業の人かなと思います。
215. 若い人は両立は無理だと思う。
216. 会議は夜行う。
217. 議員報酬金と個人の職業報酬金で生活している現在が実情ですからこのままで状態
よいです。(議員を生業とするわけではないから)
218. 若い方がよいから。
219. 町民に接する機会を多くして要望と解決案を持つ。
220. 休日・夜間の活用。
221. 時間や周りの協力が必要。

222. 議員活動の「仕事量」「時間」等から両立可能なのか不明。①会社勤務者「公務」時間の確保(制度)。②休日・夜間議会の検討。③議会日程を固定化しない。
223. 議会の会議日及び時間の在り方。
224. コロナにより社会の変換点を迎え、本格的なセカンドキャリア時代に突入した。個人の能力を発揮し、活躍できる場を広げ、生涯一職種でなく、失業リスクに対抗でき、自分自身で安定した生活基盤を確保することが今後ますます重要と考える。
225. 議会を夜にする。仕事への理解。
226. 企業側に議員活動支援を行わせるよう協力を求めていく。
227. 勤務時間にできるよう会社等の理解をもらう。
228. 何をするか予定を立てたらよいと思います。
229. いかにも情熱をもって議員活動していかれるか強い覚悟が必要。
230. 兼業できるものなのかそもそも知りませんが、実例のPRが必要。議会にリアルタイムに参加できなくても、ビデオで見られたり、内容が把握できるような議会にするとよいと思います。
231. だらだらと時間さえ過ぎればよいとの考えでなくてきばきと短時間で運営出来たらいいのにとします。
232. 議会を夜とか土日に集中させる。
233. 会議時間の短縮。
234. 休日に夜間議会を開くなど多様に対応する。
235. 自分の足で町内を歩き目と耳で見直すところを探してほしい。
236. 議会を夜に行い、またその期間は務めている職場に理解をしてもらい、会社の給料と議員報酬両方で生活できる額にする。
237. 議員一本では生活していくのは大変だと思うので兼業で良いと思います。
238. ①議会開催日時 of 弾力性。②IT活用の審議・決議方法の革新化。
239. 議会に出られる時間の工夫。仕事を休める環境の整備。
240. 議員活動に重点を置きながらも毎日活動があるわけではないと思われるので兼業でも良いと思う。
241. 頑張る。
242. 休日、勤務時間以外の議会開催。
243. 仕事をしていないと世間の状況とかがわかりにくくなると思ったからで、その先まではわからない。
244. 議会の回数を減らす。
245. フルパワーで仕事をしている人は議員はできないと思います。仕事量が日々半分くらいなら良いと思います。
246. 議員を減らし、その手当金を全議員へ配分する(手当・仕事を増やす)。
247. 議員報酬の関係で。

248. 企業への理解。
249. 議会の日程を土日または夜に行くなど。
250. 兼業を推奨するわけではなく、個人の自由を尊重したい。
251. 夜間議会の開催等、柔軟な議会運営。
252. 会社に理解を求める。議会の時間を考える。
253. 仕事内容にもよる。
254. 議会の月日数が少ないため。
255. 会社の協力、理解。
256. 職場の理解。夜間議会。
257. 職場の理解が必要。
258. 今まで通りで良い。
259. 会社に縛られない自由に時間を使える人。
260. 議員としての仕事をもう一つの仕事の量との兼ね合いもあり一概には言えませんが、どちらがでなく本人がどちらかを選べるような形がよいのではと思います。こちらの間の答えは仕事の内容が分からないので答えにくく、本人がどうしたら良いのか考えるしかないのだろうと思います。
261. 兼業の可否は基本的に規定すべきでない。議員と町民が個々に判断すればよい。
262. 兼業ならば人員を増やした方がよい。
263. 夕方からの議会運営。議員に対する職場での理解度をアップさせるための工夫。
264. 議会をフレックスタイムにし、会議の回数を減らす。
265. すべてとは言いませんが半分くらいは議会を夜にする。
266. 議会を夜開く。
267. 議会開催の日程・時間等の検討を。
268. 日常活動は時間とれるのでは。議会日程、時間を検討する。
269. 勤務先の理解。
270. 自分の仕事、議員の仕事がかち合ったときより重要な方を選択できる工夫と弾力的扱いができるように話し合っていけないか。難しいことですが。
271. 若い世代の議員を望むならば、夜や土日での議会開催など昼間仕事をしていても参加できるよう日程の調整が必要になると思う。また、議会以外の来賓として呼ばれていくなど不要不急な仕事はこのコロナをきっかけにやめていくのも大切だと思う。
272. 仕事としながらも議員としての活動がやれるように議会の在り方を変えましょう。リモート会議とかできませんか。
273. 報酬アップ。
274. 人員増加。業務の見直し。よくわかりません。
275. この田舎で専業というのは現実的はない。他の地域でも行われている夜間議会などはどうか。

276. 議会を行う時間帯を考慮する。
277. 定例議会の開催方法を検討する。(回数や時間、運営方法など)。仕事をしながらできるように制度を変更する。
278. 兼業することの大変さがよくわからない。
279. 議員の活動の時間を考える。夜やるとか、土日にやるとか、都合を考えてほしい。
280. 現役で働いている世代(例えば65歳以下)には手厚い議員報酬を出し、その分公的年金支給対象年代の議員の報酬を減らす。できるだけ夜間、土日等に出来るものは開催時間を調整する定例議会も特別職を除き、全課長が(解読不能)首揃えて出席する必要はない。質問主意書が出ているので必要最小限の課長/関係者で良い。
281. 会社が議員の仕事をしやすくする。
282. 議員の生活のために仕事(収入)が必要。その上で議員の業務ができるようにシステムを作る。
283. 議員報酬をある程度与え、議員活動にさく時間を増やしてもらう。
284. 議員報酬だけでは生活できない。討議する内容の事前告知、短時間決定。
285. ネットの活用。
286. 自由時間を有効活用する程度で議員の仕事はできると思うので自由時間は選挙区の住民と無駄話をする。